

平成 15 年度 SGST 第 3 回研究会 議事録

日時 : 平成 15 年 8 月 26 日(火) 16:00~17:20

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

講師 : 田中伸尚氏 (株式会社宮地鐵工所 製造部計画課)

出席者 : 安藤(瀧上), 海老澤(名工大), 小川(名古屋道路エンジ), 尾関(瀧上), 加藤(瀧上), 河野(東海鋼材), 櫛田(帝国建設 C), 事口(大同工大), 佐藤(中日本建設 C), 清水(信州大), 杉浦(JIP テクノサイエンス), 田中(中部復建), 中川(瀧上), 酒造(大同工大), 水澤(大同工大), 山田(トピー), 16 名(敬称略)

1. 定期研究会 (清水研究会担当幹事)

講演「上信越自動車道 北千曲川 (鋼上部工) 工事の設計・架設について」

(株式会社宮地鐵工所 製造部計画課 田中伸尚氏)

<内容>

北千曲川 (鋼上部工) 工事の紹介と設計・架設について問題点や対処法などの講演があった。

・特徴

4 径間連続非合成ラーメン箱桁橋

RC 橋脚と鋼桁の剛結構造

合成床版の使用

・設計・施工上の課題

剛結部の断面力の伝達形式の選定

剛結部充填コンクリートの側圧の照査

鉄筋貫通孔の断面欠損の照査

充填コンクリートの作業性, 充填性

・対処法と特徴

動的解析の結果から, 剛結部の鋼桁下フランジありの構造とした鉄筋定着形式を用いた。

充填コンクリートの作業性向上のため, 高流動コンクリートを用いた。また, 充填時の側圧を考慮した。

上部自重軽減のため, 宮地鐵工が開発した合成床版である QS スラブを用いた。

充填度を確認方法, 水和熱の問題などに配慮した。

以上//

平成 15 年度 SGST 第 3 回幹事会 議事録

日時 : 平成 15 年 8 月 26 日(火) 15:00~16:00

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者 : 事口(大同工大), 水澤(大同工大), 清水(信州大), 海老澤(名工大), 安藤(瀧上), 中川(瀧上), 尾関(瀧上), 杉浦(日本構研情報), 山田(トピー), 9 名(敬称略)

幹事会議事内容

1) 第 2 回幹事会議事の説明(事口代表)

- ・ H15 年度活動計画, 定期研究会, 現場見学会, 研究委員会の件他.

2) 中間会計報告

- ・ 25 周年シンポジウムと現場見学会の会計報告があった. 不足分は SGST より補填を行うこととする.
- ・ 25 周年シンポジウムについて, 報告書を冊子にして発行する(塩見元代表). 発行部数 150 部で予算約 50 万円を計上する.
- ・ 現在の特別会員・個人会員の納入状況の説明. 特別会員については, 各代表者に参加委員の確認および請求書の送付を行った. 個人会員には, 請求書を送付済み.
- ・ 個人会員は納入状況が悪いため(約 30%), 再度メール等にて納入(銀行振込)を促すと共に, 研究会開催時に直接支払いも可能とする旨告知する.

3) ホームページ改変について

- ・ 現行: ホームページ立ち上げ時の経緯から, 葛西委員(名大)名義で契約, 請求書も葛西委員経由で SGST にて処理→SGST での管理とすべき
- ・ 現在は NIFTY と契約(36,000 円/年), 岡本 HP 担当幹事が管理, 実際の更新作業等は外注業者に委託(5 万円/年)
- ・ オリジナルドメインの取得(NTT と契約: 36,000 円/月), 更新作業等は外注業者に委託(5 万円/年)
- ・ 費用的には変わらないが, 移行のために一時的に費用が発生(60,000 円程度)
- ・ 費用処理の点, ホームページの永続的な利用から, 移行措置が望ましい. 次回幹事会にて岡本担当幹事より説明

4) その他

- ・ 8/6MAG ロード現場見学会の件をホームページへ公開
- ・ 特別講演会の開催: 9/5 大橋治一氏(米国 NY パースンズ)の告知
- ・ 次回幹事会, 研究委員会: 日時 10/28, 担当 忠先生(豊田高専)

5) 研究委員会の進め方

- ・ 研究委員会の位置付け, 要求される成果のレベルが明確ではなく, わかりづらい状態である.
- ・ 幹事がそれぞれ 1 案ずつ作成し, 事務局へメールで連絡, 幹事会で検討する.

6) CPD 申請の件

- ・ 水澤幹事より, 土木学会へ問い合わせの結果説明: SGST として申請可能である.
- ・ 研究会開催ごとに申請書を提出, 認定をもらう必要がある.
- ・ 水澤幹事にて書面の雛型を作成し, 次回幹事会で検討する.

以上//